法面工

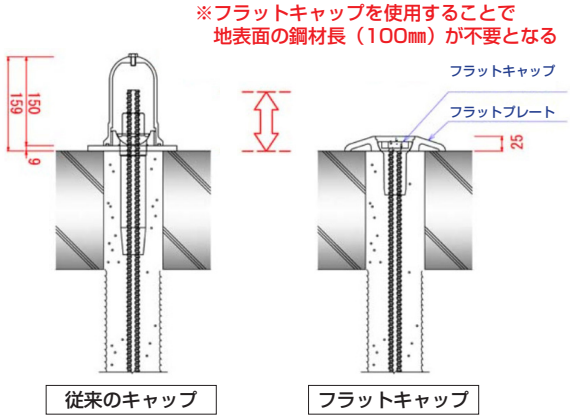
フラットキャップ

NETIS登録番号：(旧) KK-110058-VE

災対新技術研究会

〒640-0405　和歌山県紀の川市貴志川町岸宮433
TEL 0736-64-8099　FAX 0736-64-8889
URL https://isabou.net/sponsor/saitai-shin-gijyutu/
mail saitai@ia6.itkeeper.ne.jp

従来技術との形状の比較



構造図

概　要

「フラットキャップ」は、地山補強工の鉄筋挿入工（ロックボルト工）の地表突出を小さくする頭部定着材。定着における補強材とのかん合を地中部分で行うことにより、補強材の締付け部の余長が不要となり地表部の突出を抑える。

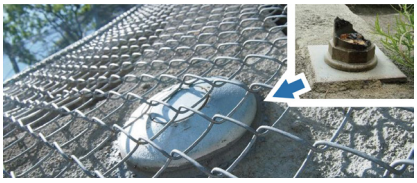
特　長

1．補強後の斜面の景観に影響がなく、安全も確保

表面が飛び出さないため景観がすっきりするほか、歩行者や車両の通行を妨げないため安全性が高い。また斜面の前面スペースに制約がある場合でも使用することができる。

2．補強斜面の耐久性を向上

突出がないので外部からの損傷を受けにくくなり、落石や車両の衝突で壊れることがない。



壊れやすかった従来キャップと異なり、落石対策と併用しても安全が確保される。

3．道路メンテナンス作業もスムーズ

除雪、草刈りなどの維持管理作業の支障にならない。

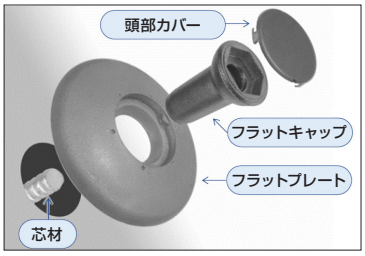
4．防錆油ではなく発泡ウレタンで止水処理

オイル流出の心配がないため、水際や水中でも使用可能。

5．コストダウンの実現

従来技術と比べシンプルで安価。芯材も10㎝短くなる。

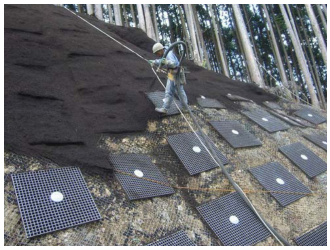
製品仕様



- 芯材は各種メーカー品が使用可能
  ネジ節異形棒鋼：D19～D25　自穿孔ボルト：φ28.5
  （設計荷重：常時80kN/本・地震時100kN/本以下）
- 補強土工の設計計算には影響しない（フラットキャップを使用しても芯材の規格は変更不要）
- 亜鉛めっきで防食されている（重防食対応タイプもあり）
- 芯材長には定着余長が不要
- 直角±15°の範囲で調整できる
- 頭部は発泡ウレタンを充填
- 部品が少なく取付けが簡単
- 施工業者に制限はない

施工例

和歌山県 高野龍神スカイライン



和歌山県 復旧治山工事

佐賀県 六角川

NEXCO中日本 新東名高速道路